

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : University of Leeds

留学期間 : 平成 28 年 1 月 20 日 ~ 平成 29 年 1 月 20 日

私の留学は、夢のようであった。海外の長期滞在、現地の大学での授業、インターンシップ、旅行等、すべて自身にとって刺激的な日々であった。

留学中の昼間の生活は、非常に落ち着いたものであった。イギリスの大学は、日本の大学と比べ、非常に課題が多かった。そのため、常に図書館にこもり授業に関連する資料との戦いであった。深夜 1 2 時まで図書館に残り、課題をこなすことも珍しくはなかった。

しかし、その中でも、図書館や大学のカフェなどで、友人と共に勉強したり、たわいもない話をしたりしていたので、不思議と勉強自体は大変ではなかった。自分の専攻に関わるイスラーム関連の授業以外にも、写真やイギリスの音楽についての授業も受講していた。なので、自分自身の研究テーマを深めることはもちろんのこと、幅広い教養も身につけることができた。

一方、大学が終わった放課後の夜の生活は新しいことの連続であった。イギリスはもともとクラブ文化が盛んな国であった。その中でも、学生の街であるリーズは多くのクラブがあった。日本であまりクラブなどには興味はなかったものの、イギリス音楽を聴くのが趣味であったので、現地の学生と主に夜な夜なクラブに繰り出し、お酒を嗜み、音楽と共に踊り、勉強のストレスを発散していた。以前は、クラブは危ないという固定観念があった。しかし、一度その固定観念を取っ払い、その結果、イギリスの生の若者文化の中に自分自身を置ける事ができた。

挑戦してみることによって新しい経験を得ることができた。もちろん、自分の身は自分で守るということも、友人にしっかり教えてもらい、まったく嫌な思いをせずに楽しい経験となった。また、日本でイメージしていた、これぞ海外のホームパーティーだ、というものにも多く招待させていただけた。しかし、はじめは言語の壁のためあまりなじみず、自分自身も楽しくなかった。そこで、言語の壁というディスアドバンテージを持つ自分はどうすれば、パーティーを楽しむ、もとい、そこにいる方々と仲良くなれるのかを考えた。すると、言語の壁はそこまで重要ではないことが分かった。語学レベルよりも、それよりも、who are you?あなたはだれ?君、面白いの?ということの方が、みな重視していることだと分かった。日本でもイギリスでもどこでも、やはり大切なのは、人としておもしろいか?生身で勝負できるかっていうことだ。おもしろいというのは、ふざけた面白さである funny だけではなく、興味深い面白さである interesting でもいい。イギリスで出会った私の友人は、みな人種や性別など全く気にせず、この人は「人として」面白いかどうかを気にしていた。自身はその考えに非常に感銘を受けた。日本では、同じコミュニティーに属した、比較的同じ経験をしてきた人々としか関わっていなかった。イギリスでは、幅広い価値観を持つ友人ができ、そんな友人たちと会話し、一つ一つが自身にとって、たからものである。

今回の留学で、一番頑張ったことは、イギリス現地のコンサルタント会社でのインターンシップである。夏

季休暇が長期であったため、その間になにかしようと考えていた。前セメスターの時に、インターンシップを見つけ応募した。英語での履歴書、面接などはじめてのことで精いっぱいであったが何とか合格することが出来た。インターンシップの内容は、日本企業に関するプロジェクトの翻訳、また市場の分析やマーケティングなどもやらせていただいた。周りは完全に外国人の中、唯一の日本人として働くことが出来た。もちろん、上司や同僚とコミュニケーションやそもそも仕事内容が難しく、なかなかうまくいかないことも多くあったが、海外のオフィスで働いている自分がかっこいいぞ！などと自分で自身を鼓舞し、なんとかやりきることができた。また、このインターンシップで稼いだお金で多くの国に旅行することが出来た。南はモロッコ、北はアイスランドと、一年間で約15か国へ足を運ぶことが出来た。各国の旅行では、有名な世界遺産はもちろんのこと、ホステルに滞在したため、多くの人と出会うことが出来た。もう二度といけない場所、会えない人、そのすべてが貴重な思い出である。

留学全体を通して学んだことは、既成概念を取っ払って、何事も挑戦してみることだ。海外という異国の地であっても、その姿勢は何も変わらない。そして、挑戦して、失敗して、成功して、それを繰り返していくことは、今回の留学だけでなく、今後の人生でもしなければいけないことだ。そして、新たな価値観にたくさん触れ、何が正しいか間違いなのか、そもそも正解はあるのかを自分の頭で考えていくことを学んだ。これから留学に行かれる皆さんには、もっともっと色々なことを挑戦してもらいたい。留学それ自体が挑戦なのは、間違いはない。しかし、それで満足するのではなく、留学の中で今度は何に挑戦していくか、を少し考えてもらえたらうれしいです。